

日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.173

2015年6月号2

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL&FAX: 077-524-5613

ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



大津 共産党

検索

←「許さない!戦争する国づくり6・14県民集会」戦争法案をストップさせるため党市議団も参加しました。

戦争する国づくりを進める

「戦争法案」に反対を

杉浦とも子 市議



現在、国会で議論されている「集団的自衛権関連法案」は、議論が進むほどに「平和安全」の名とは全く逆の方向へ日本を導く、憲法違反の「戦争法案」であることが明らかとなつていきます。大津市には自衛隊駐屯地があり、日米合同演習も行われる演習場が隣接する高島市にあることで、テロの危険性も高まり、市民を危険にさらすことになるのではと不安や懸念が広がっています。



命、財産を守るべき自治体の長として、この法案に反対すべきと市長の姿勢を質しました。市長は答えず、政策調整部長が「国政において議論されるべきもの」と答えるのみでした。戦争は一番の暮らし破壊、生命を脅かすものです。市は、国に対して毅然とした態度を示すべきです。

【その他の質問項目】

保育問題、公設卸売市場事業の民営化、ケアセンターおおつの民営化について

学校は統廃合ではなく、新設でマンモス校の解消を

林まり 市議

市は今年度末までに「学校規模等適正化ビジョン」を策定する計画です。林市議は、これは、大津市公共施設適正化計画に示された、小中学校の敷地面積を25・5%削減するという方針を具体化するもので、文科省の統廃合検討基準に該当する小学校8校、中学校3校を、財政難・少子化を理由に統廃合を進めるものではないかと質問。地域の現状に応じ学校の新設が必要と市の考えを質しました。

この間、財政難を理由に民間委託や公共施設の削減なども検討されています。少人数学級で子どもたちに行き届いた教育を保障するために、学校統廃合をさせないよう取り組んでいきます。

【その他の質問項目】

市からは、「ビジョン」は公共施設



原発問題について

日本共産党市議の一般質問紹介特集号

6月通常会議の一般質問が、8~10日に行われました。党市議団は市民にとって切実な課題を取り上げ、質問に立ちました。

住民の命と暮らしを守る

市営住宅の運営を提案

たてみち秀彦 市議



暮らしの困難が増す中、市営住宅の必要性が高まっています。たてみち市議は、市営住宅を減らさず、住宅の高齢化も考え、まちづくりも視野に入れた住宅政策が必要ではと、市の姿勢を質しました。また、耐用年数を過ぎた石山団地の一刻も早い建て替えを求め、建て替え基金の活用も提案。

財政状況を理由に、建て替えを先延ばしし、市営住宅を削減させるわけにはいきません。少なくとも石山団地は速やかな建て替えが必要で、市民の命と暮らしを守るため追及していきます。

【その他の質問項目】
公共交通の充実、中小企業振興について

市の答弁は、「(仮称)市営住宅マネジメント計画」を策定し、まちづくりの視点を踏まえ検討する。石山団地は入居者の生活に支障をきたすことがないよう対応に努め、住民の方々には丁寧の説明していくとし、基金を使う考えはないというものでした。

障がい児者が安心して暮らせる大津市に

先原則」で、今までのサービスが使えなくなったので何とかして欲しいという声があがりました。党市議団は、障がい者権利条約にふさわしく、安心して地域で暮らせるよう、障がい児者の声に耳を傾け、制度改善のためにがんばります。(石黒かづ子)

大津市自立支援協議会報告会

年に1回行われる大津市自立支援協議会の公開の報告会が6月5日にあり、参加してきました。予想を超える参加者で資料が足りなくなるほどでした。

障がい者関係の課題はこの協議会で議論され、市に対して提案や要望が出されます。課題ごとにくつもの部会があり、それぞれから報告がありました。

報告会の最後に、65歳になり、総合支援法に基づく「介護保険優



壁や床が腐り、はがれている石山団地の室内 (写真提供: 滋賀民報社)

市民の知る権利を保障する 図書館運営は公でこそ



岸本のり子 市議

公立図書館を民間業者に委託・指定管理する自治体が増えています。図書館は戦前、一部の権力者しか利用が許されず、戦時中には言論統制を行う機関ともされてきました。現在の憲法の下、制定された「図書館法」は全ての国民に知る権利や学ぶ権利を保障しています。

岸本市議は、強行可決された「秘密保護法」や漫画『だしのゲン』の閲覧が制限されるような現代にあって、市民に資料・情報を公正に収集・探索・提供する市立図書館の運営は、公営で継続すべきと市の考えを質しました。教育長は、図書館は国民に知る権利を保障する施設という認識は示したものの、公営で継続するかは明言を避けました。民間委託ではなく、市民の権利を保障し、図書館機能の充実を進めるよう求めていき

【その他の質問項目】
「地方創生」、公共施設の再編について

「子どもの医療費中学校卒業まで無料」は市民の切実な願い
石黒かづ子 市議
子どもの医療費助成制度の対象年齢は中学生以上とありますが、全国的な主流になっています。大津市では、就学前までは入院・外来とも無料、小学生は自己負担ありで、外来は3年生まで、入院は6年生までの助成のみと、県下でも遅れています。石黒市議は、市が子育て重視を掲げるなら中学校卒業まで医療費無料化を進める考えはないのか質しました。市は、持続可能な制度とすることが必要で充分見きわめたいとし、県に対して制度拡充を求めていくとの、消極的な答弁でした。命や健康に関わる制度が住んでいる所によって格差があってはなりません。子どもたちの命と市民の暮らしを守るため、引き続き住民のみなさんと制度拡充の運動を強めていきます。



石黒かづ子 市議

首長の姿勢で 自治体の方向が変わる

6月6日、滋賀自治体問題研究所創立30周年記念の講演会が行われ、私も参加してきました。

講師に元京都府与謝野町長の太田貴美さんを迎え「地域の宝物を再発見し、人とお金がぐるぐるめぐるまちづくり」というテーマで、「まちづくりの主人公は、そこに住む住民であり、住民が輝けば、まちは輝く」「困ったら住民の中へ」をモットーに取り組みされてきたことを語られました。3つの町の合併に至るまでに、地域に向いて住民と話し合いを重ね、インフラの整備や地域産業、中小業者の振興などに力を入れてこられた話を聞くと、首長の姿勢で自治体の方向が大きく変わることが、よくわかりました。来年1月は大津市長選挙があります。住民の立場に立つ市政への転換が望まれます。

滋賀自治体問題研究所 創立30周年記念講演に参加

【その他の質問項目】
介護保険制度改定、乳幼児健診の民間委託、生活保護制度改悪について

1 ホントに戦争する国に?

彼が自衛隊に入るっていうんだー

へーっ 公務員になって資格も取れるんだよねー

はー……

でもさー戦争とかになったらまっ先に……

あはは 大げさー

じゃねー

おだ 行けー

だって最近の政治ってなんだかこわいしー

このもやもやした不安はなんなの!?

しっかり働きます

ダメー!

だれか教えてー

マンガ: 岩間みどり

2 危険な『戦争立法』

これからは行った先が「戦闘現場」になることもありえる!

…マジ?!?

ドカーン

死にたくないよー!!

困まっている米兵の救出をしろ!!

あの人たちを殺すの!?

もどってきてー

もどりたいよー

行けー 進めー

マンガ: 岩間みどり

3 これが『集団的自衛権』

…そうは言っても愛する人を守るためには多少の危険は…

日本が攻撃されなくても海外に行ってしまうよ

え!?

しっかり同盟国アメリカをサポートしないとさー

アメリカの侵略戦争でもそういうことをやるのか?

「日本が危ない」って判断したらねー

…どんな戦争でも海外に送られるのか…

マンガ: 岩間みどり

ストリップ! 戦争法案

日本共産党

日本を戦争する国にさせないために、戦争法案(安保法制)に反対する署名を集めています。ぜひご協力ください。